

# みんなdeスポーツ! わが町の取り組み

37

## 徳島県

6月2～5日の4日間、徳島県内の高校スポーツの祭典「第57回徳島県高等学校総合体育大会」が開催された。32競技に41校9116人が参加し、県内各地で熱戦が繰り広げられた。この高校総体に毎年、特別支



青春の汗と涙が光る高校総体に参加した2人

## 陸上部が県の高校総体に出場

援学校から唯一、徳島県立みなと高等学園の陸上部が  
出場している。

本校は高校段階の発達障がいのある生徒を対象とした特別支援学校である。八つの部活動があり、陸上部には6人が所属している。週2回の部活動日以外にも、早朝練習や土曜日に徳島市内の陸上競技場で練習している。顧問の専門的な指導の下、着々とタイムを伸ばす生徒もおり、今年も2人が高校総体に出場した。

生徒一人一人の自信や勇気につながっている。

総体に出場した2人は全国障害者スポーツ大会陸上競技の徳島県代表に選出され、10月に開かれる愛媛大会に出場することが決まった。他にも本校には、スペシャルオリンピックスの自転車競技に出場している生徒もいる。

本県では、ボッチャやバスケットボールなど、障がい者スポーツの普及活動にも力を入れており、「見る」スポーツから「やってみる」スポーツへのチャレンジとして、障がい者が参加できる競技や機会が増えてきている。生徒一人一人が輝ける瞬間を見つけ、生涯にわたってスポーツを楽しんでほしいと願っている。

総体当日の朝、スタート位置に立った彼らは緊張した面持ちであったが、他校生と肩を並べ自分の力を精いっぱい発揮することができた。残念ながら2人とも決勝には進めなかったが、青春ならではの貴重な経験ができた。これらの経験は

(大塚啓子・徳島県立みなと高等学園教頭)